

LAMP® 上吊式引戸 FD50-H 上ローラー木口面付 デュアルソフトクローザー仕様

施工説明書
品番：FD50DHCMP

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

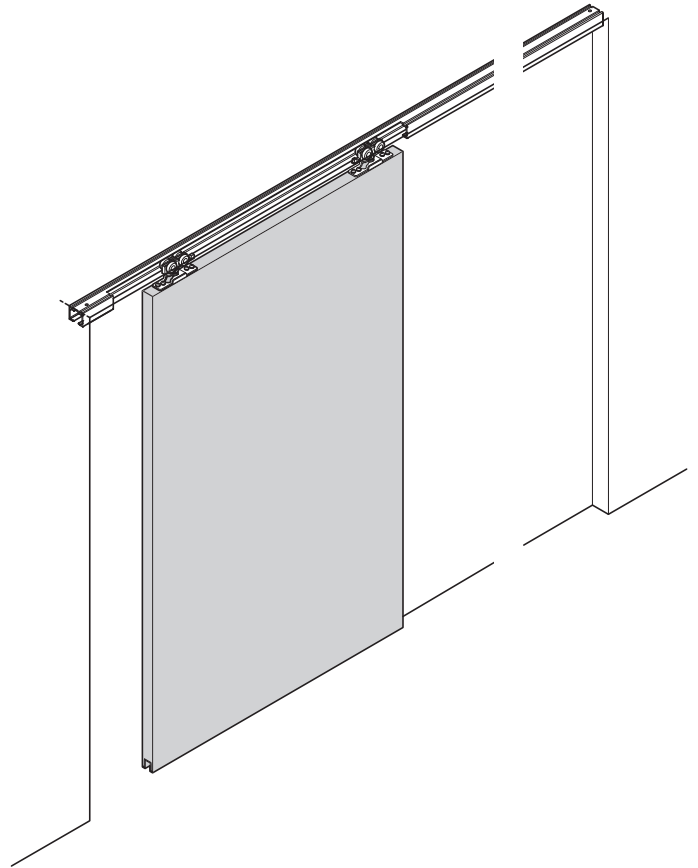
本製品について

- 屋内用の上吊式引戸金物です。
- 扉を開閉する双方向にクローザーが働き、戸先と戸尻それぞれ方向に2段階でゆっくりと静かに引き込みます。
- 工具を使わずに扉を吊り込むことができます。

仕様

扉高さ	2400 mm 以下	2401 ~ 2700 mm
扉幅	774 ~ 1500 mm	800 ~ 1500 mm
扉厚	30 mm 以上	
扉質量 (1 枚当り)	50 kg 以下 (推奨 25 kg 以上)	
扉上下調整範囲	上方向に 4 mm、下方向に 4 mm	

- ・使用場所の室温、操作方法および取付け状態などにより、ソフトクローザー機構による扉の閉じる速さは変わります。
- ・使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
---	---	---


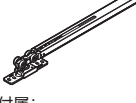


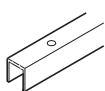

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

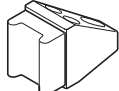
- ❗ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。

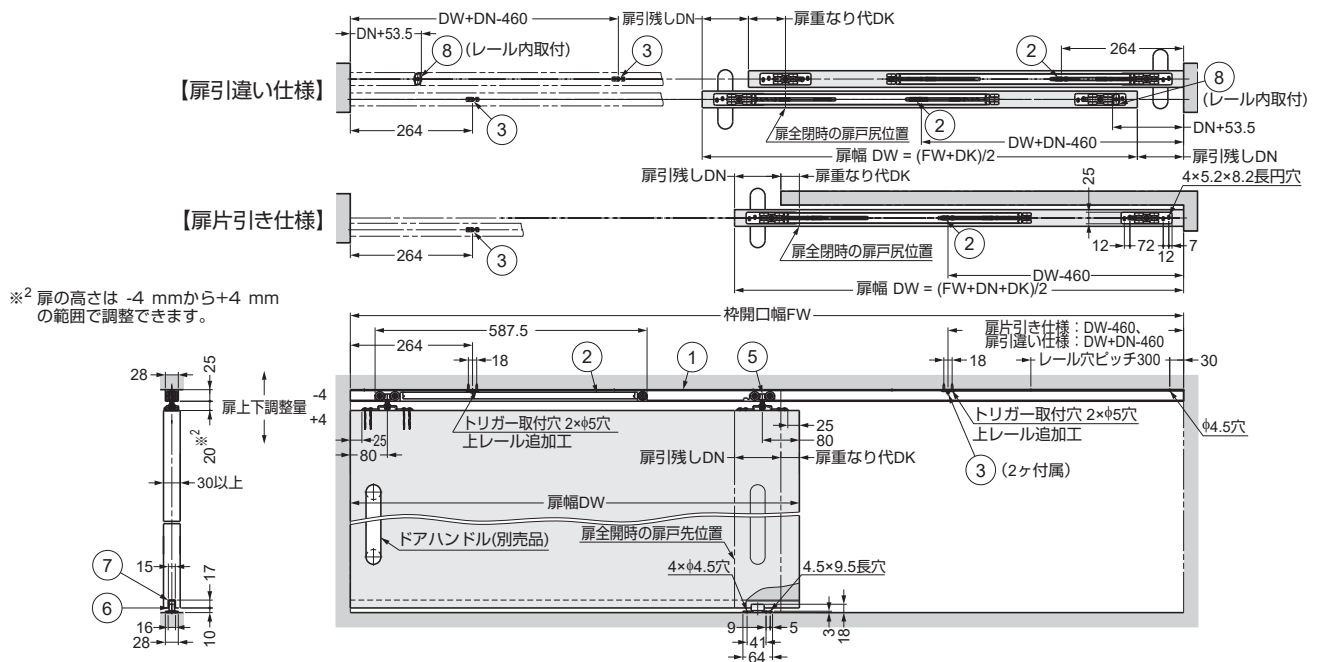
部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
品名	上レール	デュアルソフトローザー(面付用)	トリガー	トリガー取付治具	上ローラー(面付用)	下ガイドS	扉下側埋込みガイドレール	ストッパーブロック
品番	FD50-TRM 型	FD50-WRM-DSC	FD50-TRG	FD50-TRJ	FD50-WRM	FD50-BG18	FD30-HBRT1500SIL	FD50-HSB
部品	1820 ~ 4000 mm 穴ピッチ: 300 mm ピッチエンド: 30 mm  付属: 十字穴付平頭タッピンねじ 3.8×40... 穴数分	 付属: 十字穴付なベタタッピンねじ 4×45... 4ヶ	(②に付属)  付属: 十字穴付小径皿タッピンねじ4×30、皿頭径φ6... 4ヶ	(②に付属) 	付属: 十字穴付なベタタッピンねじ 4×45... 4ヶ	付属: 十字穴付バインドタッピンねじ 4×16... 5ヶ	1500 mm 穴ピッチ: 250 mm ピッチエンド: 30 mm 	
片引き戸	1本	1ヶ	2ヶ	1ヶ	1ヶ	1ヶ	1本	—
引違い戸	2本	2ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2本	2ヶ ^{※1}
引分け戸	1本	2ヶ	4ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ	2本	2ヶ

No.	⑨
品名	戸当り(床付用)
品番	FD30-HTKY
部品	扉を縦枠に当てない場合に使用  付属: 十字穴付バインドタッピンねじ 4×30... 3ヶ

※¹ 扉にドアハンドルを取り付ける場合は、必ずお買い求めください。

寸法図



取付手順

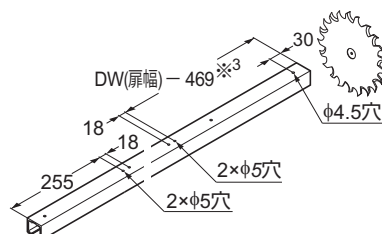
本書では、片引き戸を例に説明しています。

1 取付前の準備、取付け

[1] 上レールの切断・穴加工

⚠ 注意

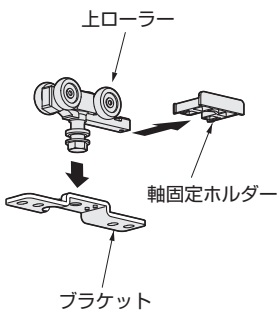
- ① 切粉がレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ② レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。



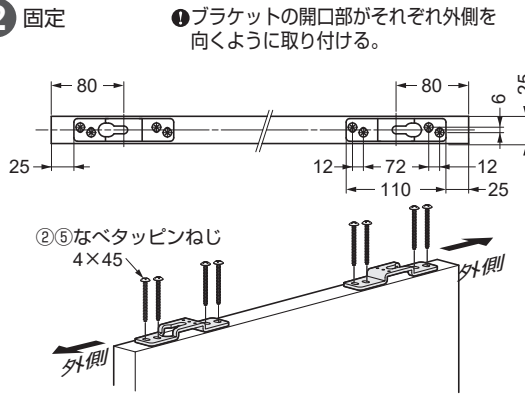
※³ 引違い仕様の場合:
DW(扉幅) + DN(扉残し) - 469

[2] ブラケットの取付け

① 分解



② 固定

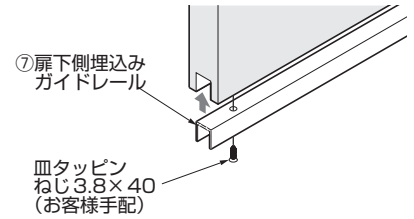


[3] 扉下側埋込みガイドレールの取付け

切断長さ=扉幅

⚠ 注意

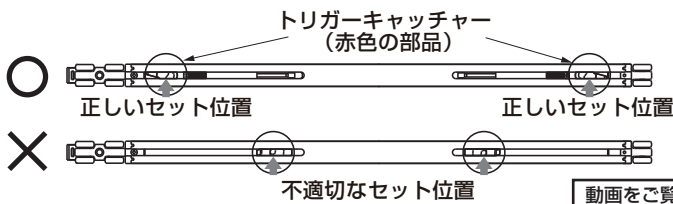
- ① レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。



[4] デュアルソフトクローザーを取り付ける前の確認

⚠ 注意

- ① 確認しないで取り付けた場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。



位置が正しくない場合、φ6の硬い丸棒でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しい位置に戻す。



動画をご覧ください

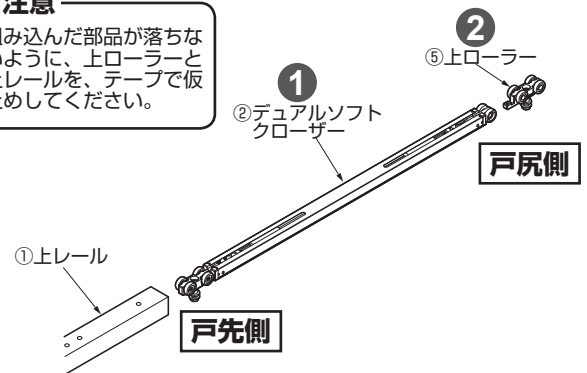


[5] 上レールへの部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①②の順番で組み込む。

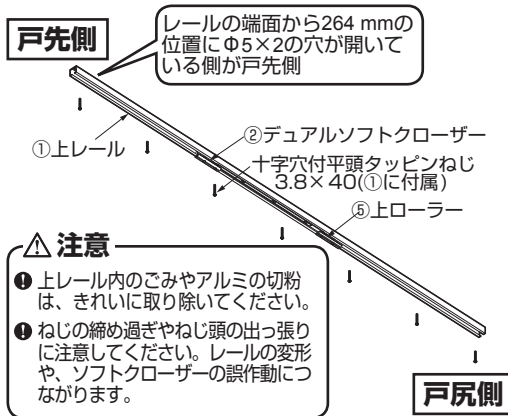
⚠ 注意

- ① 組み込んだ部品が落ちないように、上ローラーと上レールを、テープで仮止めしてください。

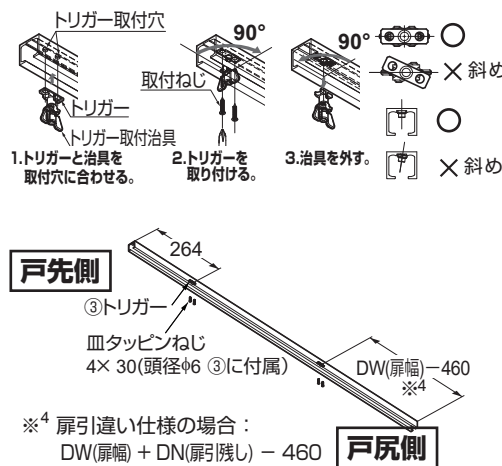


[6] 上レールの取付け

戸先側、戸尻側の向きに注意し、上レールを付属ねじで上枠に固定する。

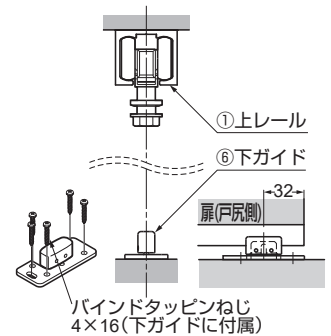


[7] トリガーの取付け



[8] 下ガイドの取付け

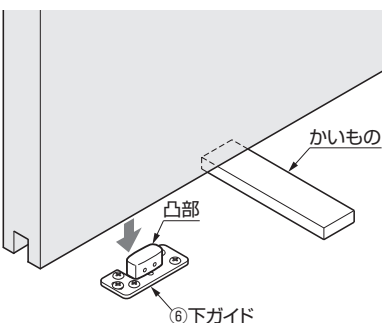
上レール中心の真下、かつ下ガイドの凸部が扉から外れない位置に取り付ける。



2 扉の吊込み、調整

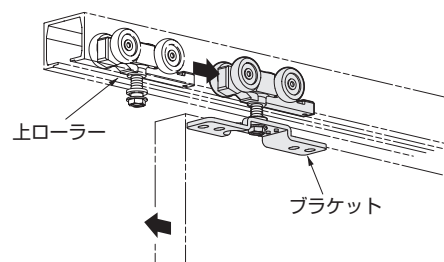
[1] 扉の吊込み (扉下部)

扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



[2] 扉の吊込み (扉上部)

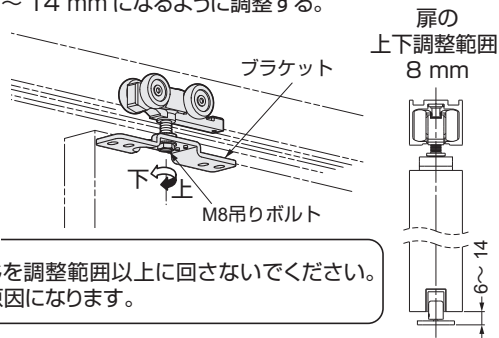
上ローラーを、扉に付いたブラケットへ横から差し込む。



[3] 扉の位置調整

① 扉の下から、かいものを外す。

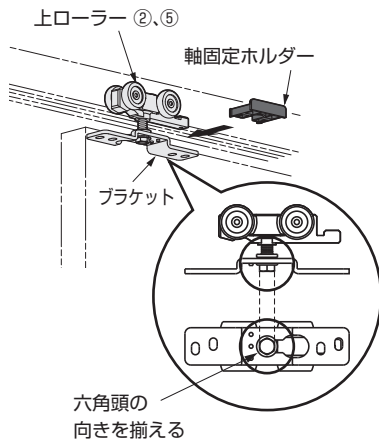
② 扉が上レールと平行で床面とのすき間が 6 ~ 14 mm になるように調整する。



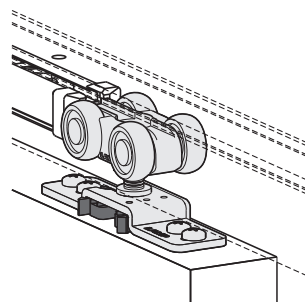
注意

調整ねじを調整範囲以上に回さないでください。破損の原因になります。

③ 軸固定ホルダーを差し込む。



④ 軸固定ホルダーの爪部がブラケットに引っかかっていることを確認する。

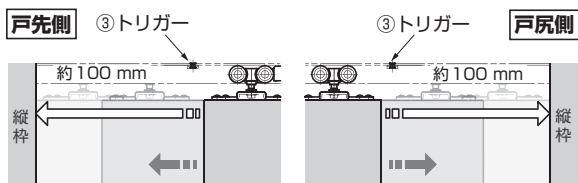


[4] ソフトクローザーの動作確認

- 扉を戸先側にゆっくり動かして、ソフトクローザーがトリガーに当たり、扉が最後まで閉じるか確認する（閉じ始め位置は縦枠の約100 mm 手前）。
- 戸尻側も同様に確認する。
- クローザーが正しく機能していない場合は下記の **困ったときの対応** を参照。

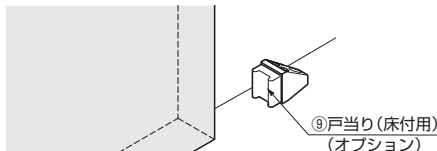
注意

扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



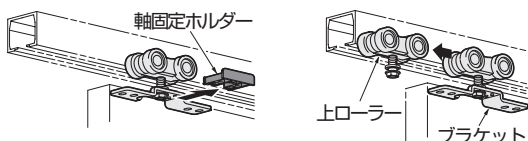
■戸当り（床付用）の取付け

扉を縦枠に当てない場合、オプションの戸当り（床付用）を必ず取り付ける。



■扉の外し方

- 扉の下に 10 mm のかいものをはさむ。
- 軸固定ホルダーを外す。
- 上ローラーを扉に付いたブラケットから外す。
- 下ガイドから扉を外す。
⚠ 扉を倒さないように注意してください。



定期点検

- レール内を掃除してください。
- 扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整してください。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。
	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。
	モヘア等を使用していませんか。	モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。
	扉を勢いよく閉じていませんか。	扉を勢いよく閉じることは、故障の原因になりますのでおやめください。
	P.3 手順 [4] のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります（上レールに組み込んだ状態では確認できません）。	扉と上レールを取り外し、手順 [4] の確認をしてください。
扉の開閉時に異音が発生する	床面に扉下面が擦っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。
	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
	上レール内のローラーにごみやアルミの切粉が付着、または刺さっていませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。
扉の開閉が重い	レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
	床面に扉下面が擦っていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。
扉が開閉しない	扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉が隣接するものとこすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.01 0592-8